



2021年3月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2021年5月13日

上場会社名 株式会社アルファポリス

上場取引所 東

コード番号 9467 URL <https://www.alphapolis.co.jp/company/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶本 雄介

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼管理本部本部長 (氏名) 大久保 明道

TEL 03-6277-0123

定時株主総会開催予定日 2021年6月22日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月23日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	7,735	37.4	2,163	48.0	2,171	48.6	1,334	51.7
2020年3月期	5,631	13.1	1,461	7.6	1,461	7.7	880	4.5

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	137.80		19.6	25.4	28.0
2020年3月期	90.85		15.4	20.2	26.0

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 百万円 2020年3月期 百万円

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	9,478	7,483	78.9	772.52
2020年3月期	7,614	6,148	80.7	634.73

(参考) 自己資本 2021年3月期 7,483百万円 2020年3月期 6,148百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	1,638	74	21	6,088
2020年3月期	437	116	11	4,546

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当 率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		0.00		0.00	0.00			
2021年3月期		0.00		0.00	0.00			
2022年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00			

3. 2022年3月期の業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,300	20.2	2,400	10.9	2,400	10.5	1,488	11.5	153.60

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	9,687,400 株	2020年3月期	9,687,400 株
期末自己株式数	2021年3月期	206 株	2020年3月期	152 株
期中平均株式数	2021年3月期	9,687,225 株	2020年3月期	9,687,259 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(持分法損益等)	10
(セグメント情報)	10
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度（2020年4月1日から2021年3月31日まで）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあり、各種政策の効果や海外経済の改善によって徐々に持ち直しの動きが見られるものの、依然として感染症の収束の見通しが立たないこと等から先行き不透明な状況で推移しております。

当社が属する出版業界におきましては、紙と電子を合算した出版市場（推定販売金額）は、2年連続のプラス成長となりました。全国出版協会・出版科学研究所によると、2020年（1月から12月まで）の紙と電子出版を合算した推定販売金額は前年同期比4.8%増の1兆6,168億円となり、その内訳は、紙の出版物については同1.0%減となる1兆2,237億円、電子出版については同28.0%増の3,931億円と、電子出版市場が順調な成長を続けております。

こうした環境の中、インターネット発の出版の先駆者である当社は、「これまでのやり方や常識に全くとらわれず」、「良いもの面白いもの望まれるものを徹底的に追求していく」というミッションの下、インターネット時代の新しいエンターテインメントを創造することを目的とし、インターネット上で話題となっている小説・漫画等のコンテンツを書籍化する事業に取り組んでまいりました。

当事業年度における書籍のジャンル別の概況は以下の通りであります。

① ライトノベル

当事業年度の刊行点数は199点（前期比3点減）となりました。各書籍の売れ行きにつきましては、『異世界ゆるり紀行』、『とあるおっさんのVRMMO活動記』等の大型人気シリーズの続刊が引き続き好調に推移いたしました。また、当社最大のWebコンテンツ大賞である「ファンタジー小説大賞」において特別賞を受賞した『余りモノ 異世界人の自由生活』を新たに刊行し、好調なスタートを切りました。電子書籍販売につきましては、引き続き親和性の高い女性向け小説を中心に順調に販売数を伸ばし、売上を牽引いたしました。

結果、当事業年度の売上高は前期を上回る着地となりました。

② 漫画

当事業年度の刊行点数は前期を大きく上回る120点（前期比18点増）となりました。各書籍の売れ行きにつきましては、『自称悪役令嬢な婚約者の観察記録。』、『最後にひとつだけお願いしてもよろしいでしょうか』等のライトノベルで人気を博した作品のコミカライズ続刊が引き続き好調に推移いたしました。また、当ジャンルと親和性が高い電子書籍販売につきましては、各電子ストアと連携し、電子ストア毎の特色やユーザー層等を考慮した効果的なキャンペーンや作品露出等を積極的に実施したことにより、売上を大幅に伸ばす結果となりました。

結果、当事業年度の売上高は前期を大幅に上回る着地となりました。

③ 文庫

当事業年度の刊行点数は145点（前期比7点増）となりました。キャラ文芸ジャンルから『迦国あやかし後宮譚』等、複数作品を書籍化し、同ジャンルの強化を推進してまいりました。また、当社開催の「ライト文芸大賞」の大賞受賞作である『おいしいふたり暮らし』を刊行する等、取り扱いジャンルの拡大にも引き続き注力いたしました。

結果、当事業年度の売上高は前期を上回る着地となりました。

④ その他

当事業年度の刊行点数は25点（前期比1点増）となりました。シリーズ累計120万部を超える人気シリーズ『居酒屋ぼったくり』の番外編第2巻を刊行し、同タイトルが売上を大きく牽引いたしました。また、強化中のビジネス書の複数刊行等、ジャンル拡大に向けた取り組みにつきましても積極的に実施してまいりました。

結果、当事業年度の売上高は前期を上回る着地となりました。

以上の活動の結果、当事業年度の売上高は7,735,291千円（前期比37.4%増）、営業利益は2,163,279千円（同48.0%増）、経常利益は2,171,138千円（同48.6%増）、当期純利益は1,334,860千円（同51.7%増）となり、売上高、利益ともに過去最高を大幅に更新いたしました。

（注）シリーズ累計部数：同作品の続編に加え同作品の漫画及び文庫を含み、部数は電子書籍販売数を含む。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産

当事業年度末の流動資産は、前事業年度末と比較して1,802,408千円増加し、9,103,204千円となりました。これは主に、現金及び預金が増加（前事業年度末比1,542,337千円増）したこと並びに売掛金が増加（同261,055千円増）したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末と比較して61,555千円増加し、375,694千円となりました。これは主に、繰延税金資産が増加（同35,308千円増）したこと及び出資金が増加（同25,243千円増）したことによるものであります。

② 負債

当事業年度末の流動負債は、前事業年度末に比べ545,454千円増加し、1,953,129千円となりました。これは主に、未払法人税等の増加（前事業年度末比396,810千円増）、未払消費税等の増加（同96,039千円増）及び未払金の増加（同58,880千円増）によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ16,178千円減少し、42,250千円となりました。これは、リース債務が増加（同3,909千円増）した一方で、長期借入金が減少（同20,088千円減）したことによるものであります。

③ 純資産

当事業年度末の純資産は、前事業年度末に比べ1,334,687千円増加し、7,483,518千円となりました。これは主に、当期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加（前事業年度末比1,334,860千円増）によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物の残高は前事業年度末より1,542,337千円増加し、6,088,469千円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりです。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは1,638,939千円の収入（前事業年度は437,667千円の収入）となりました。主な増加要因は、税引前当期純利益の計上、未払金の増加及びその他に含まれる未払消費税等の増加によるものであります。また、主な減少要因は、売上債権の増加、返品調整引当金の減少及び法人税等の支払によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは74,934千円の支出（前事業年度は116,394千円の支出）となりました。これは主に、出資金の払込による支出61,261千円及び無形固定資産の取得による支出17,019千円が発生したことによるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは21,668千円の支出（前事業年度は11,238千円の収入）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出20,088千円が発生したことによるものであります。

(4) 今後の見通し

当社の属する出版業界におきましては次期も紙の出版物の市場は引き続き厳しい状況が続くものと予想され、一方で電子出版物の市場は堅調に拡大していくものと思われま。

そのような状況下、当社におきましては、編集部人員の積極的な採用と育成を推進し、編集部部門の体制が強化されたことや、自社Webサイトのプロモーション強化によりユーザー数、投稿作品数が増加し、自社サイトからの作品調達がより強固になったこと等から、次期の書籍の刊行点数は504点（前期比+15点）を見込んでおります。

また、好調に推移している電子書籍販売につきましては、ライトノベルヒット作のコミカライズ作品を中心とした更なる売り伸ばしに加え、各電子ストアと連携したキャンペーンや作品露出の強化等の拡販施策を推進することにより、引き続き売上の大幅な増加を見込んでおります。

費用面に関しましては、事業に係る変動費の構造に大きな変化はありませんが、書籍事業の成長加速を実現するため、当社及び当社作品の認知度の向上並びに当社Webサイト及びアプリのユーザー数の増加を目的とした大規模な広告宣伝や、更なるグローバル展開を見据えた北米向け英語漫画アプリの開発及び配信といった大型成長投資の支出を予定しております。

これらの結果、次期の業績見通しにつきましては、売上高は9,300百万円（前期比20.2%増）、営業利益は2,400百万円（同10.9%増）、経常利益は2,400百万円（同10.5%増）、当期純利益は1,488百万円（同11.5%増）となり、売上高及び利益いずれも過去最高を更新することを見込んでおります。

※本資料における予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。予想に内在するさまざまな不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により、実際の業績と異なる場合がありますので、ご承知置さください。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、今後の I F R S (国際会計基準)の適用については、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,546,132	6,088,469
売掛金	2,398,873	2,659,929
製品	187,166	193,359
仕掛品	118,068	132,933
前払費用	27,061	27,913
その他	23,492	597
流動資産合計	7,300,795	9,103,204
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備（純額）	24,364	22,427
工具、器具及び備品（純額）	4,956	5,404
リース資産（純額）	2,354	5,700
有形固定資産合計	31,674	33,531
無形固定資産		
ソフトウェア	25,973	13,692
ソフトウェア仮勘定	—	18,486
無形固定資産合計	25,973	32,178
投資その他の資産		
出資金	5,387	30,630
関係会社株式	20,400	9,419
保険積立金	8,000	8,000
敷金	153,711	147,248
繰延税金資産	55,739	91,047
その他	13,252	23,637
投資その他の資産合計	256,491	309,983
固定資産合計	314,139	375,694
資産合計	7,614,935	9,478,898
負債の部		
流動負債		
買掛金	48,534	51,600
1年内返済予定の長期借入金	20,088	20,088
未払金	518,463	577,343
未払消費税等	63,023	159,062
未払費用	33,387	31,730
未払法人税等	269,973	666,783
預り金	18,966	21,550
賞与引当金	36,105	44,139
返品調整引当金	339,621	307,252
ポイント引当金	26,880	27,550
前受金	31,177	44,742
リース債務	1,452	1,283
流動負債合計	1,407,674	1,953,129
固定負債		
長期借入金	57,340	37,252
リース債務	1,089	4,998
固定負債合計	58,429	42,250
負債合計	1,466,104	1,995,380

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	863,824	863,824
資本剰余金		
資本準備金	853,824	853,824
資本剰余金合計	853,824	853,824
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	4,431,412	5,766,272
利益剰余金合計	4,431,412	5,766,272
自己株式	△229	△403
株主資本合計	6,148,830	7,483,518
純資産合計	6,148,830	7,483,518
負債純資産合計	7,614,935	9,478,898

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	5,631,353	7,735,291
売上原価		
製品期首たな卸高	169,952	187,166
当期製品製造原価	1,458,103	1,758,746
合計	1,628,055	1,945,913
製品期末たな卸高	187,166	193,359
製品売上原価	1,440,889	1,752,553
売上総利益	4,190,464	5,982,737
返品調整引当金戻入額	399,171	339,621
返品調整引当金繰入額	339,621	307,252
差引売上総利益	4,250,013	6,015,106
販売費及び一般管理費	2,788,015	3,851,826
営業利益	1,461,998	2,163,279
営業外収益		
受取利息	43	50
前払式支払手段失効益	—	8,031
その他	19	—
営業外収益合計	62	8,082
営業外費用		
支払利息	277	221
その他	395	2
営業外費用合計	672	224
経常利益	1,461,387	2,171,138
特別損失		
関係会社株式評価損	—	10,980
本社移転費用	71,474	—
特別損失合計	71,474	10,980
税引前当期純利益	1,389,913	2,160,157
法人税、住民税及び事業税	517,619	860,605
法人税等調整額	△7,795	△35,308
法人税等合計	509,824	825,297
当期純利益	880,089	1,334,860

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本									純資産 合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本 合計			
		資本 準備金	資本 剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金						利益 剰余金 合計
					別途 積立金	繰越利益 剰余金					
当期首残高	863,824	853,824	853,824	—	—	3,551,322	3,551,322	△137	5,268,834	5,268,834	
当期変動額											
当期純利益						880,089	880,089		880,089	880,089	
自己株式の取得								△92	△92	△92	
当期変動額合計	—	—	—	—	—	880,089	880,089	△92	879,996	879,996	
当期末残高	863,824	853,824	853,824	—	—	4,431,412	4,431,412	△229	6,148,830	6,148,830	

当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本									純資産 合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本 合計			
		資本 準備金	資本 剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金						利益 剰余金 合計
					別途 積立金	繰越利益 剰余金					
当期首残高	863,824	853,824	853,824	—	—	4,431,412	4,431,412	△229	6,148,830	6,148,830	
当期変動額											
当期純利益						1,334,860	1,334,860		1,334,860	1,334,860	
自己株式の取得								△173	△173	△173	
当期変動額合計	—	—	—	—	—	1,334,860	1,334,860	△173	1,334,687	1,334,687	
当期末残高	863,824	853,824	853,824	—	—	5,766,272	5,766,272	△403	7,483,518	7,483,518	

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	1,389,913	2,160,157
減価償却費	25,088	28,016
関係会社株式評価損	—	10,980
本社移転費用	71,474	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	8,502	8,034
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△59,549	△32,368
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	26,880	670
受取利息及び受取配当金	△43	△50
支払利息	277	221
売上債権の増減額 (△は増加)	△221,396	△261,055
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△38,854	△21,058
仕入債務の増減額 (△は減少)	△10,501	3,065
未払金の増減額 (△は減少)	37,879	66,857
その他	△43,124	165,731
小計	1,186,545	2,129,201
利息及び配当金の受取額	43	50
利息の支払額	△277	△221
本社移転費用の支払額	△43,457	△10,499
法人税等の支払額	△705,187	△479,591
営業活動によるキャッシュ・フロー	437,667	1,638,939
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△29,430	△2,041
無形固定資産の取得による支出	△9,239	△17,019
出資金の払込による支出	—	△61,261
出資金の回収による収入	4,051	5,387
敷金及び保証金の差入による支出	△81,775	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△116,394	△74,934
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	50,000	—
長期借入金の返済による支出	△37,216	△20,088
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,452	△1,407
自己株式の取得による支出	△92	△173
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,238	△21,668
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	332,511	1,542,337
現金及び現金同等物の期首残高	4,213,620	4,546,132
現金及び現金同等物の期末残高	4,546,132	6,088,469

- (5) 財務諸表に関する注記事項
 (継続企業の前提に関する注記)
 該当事項はありません。

(持分法損益等)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
関連会社に対する投資の金額	20,400千円	20,400千円
持分法を適用した場合の投資の金額	14,377	9,419
持分法を適用した場合の投資損失(△) の金額	△12,919	△4,957

(セグメント情報)

当社は、出版事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	634.73円	772.52円
1株当たり当期純利益金額	90.85円	137.80円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
 2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益金額(千円)	880,089	1,334,860
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益金額(千円)	880,089	1,334,860
期中平均株式数(株)	9,687,259	9,687,225

(重要な後発事象)

該当事項はありません。